

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年5月31日

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	
横断的な課題	高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備					
地域重点政策	高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備					
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	リニア活用・企画振興課
事業名	三遠南信地域マラソン大会スタンプラリー事業				電話	8-237-2285
					E-mail	<a href="mailto:minamichi-ikaku@pref.nagano.lg.jp">minamichi-ikaku@pref.nagano.lg.jp</a>
事業の概要等	目的 (目指す姿)	三遠南信自動車道の全線開通を見据え、長野、愛知、静岡の県境を越えた交流事業を実施することで、つながり人口の一層の拡大を図る。				
	現状と課題	三遠南信自動車道の全線開通を見据え、長野県・愛知県・静岡県からなる三遠南信地域の発展に向けたつながり人口の拡大が課題となっている。 このため、各地域で開催されるマラソン大会を活用したスタンプラリー事業を実施し、地域内周遊・交流を促進する。 なお、令和元年度、及び令和4年度に同事業を実施(令和2~3年度は、新型コロナウイルス感染拡大による中止。)しており、令和元年度は応募者数36名、応募要件を緩和した令和4年度は応募者数61名(有効応募者数59名)となったが、地域の認知度はまだまだ低水準と思われる。令和4年度事業の結果から、本事業参加者のうち、長野県の大会に参加された方が少なく、長野県の来訪につながっていないことが考えられる。				
概要等	内容 (変更後の内容)	<p>○参加者は、対象マラソン大会の会場でスタンプを獲得し、(走者に限らず、大会スタッフ、同行家族なども参加可能)合計3個集めて、専用はがきで応募する。応募者の中から、抽選により各地域の特産品を商品として授与することで、スタンプラリーへの参加を促し、つながり人口を増やす。</p> <p>○本事業を幅広くPRするため、チラシ・ポスター・のぼり旗を作成し各市町村や観光施設、体育施設等に掲示する。</p> <p>○今年度及び次年度大会における本事業への参加者増に向け、マラソン大会会場にブースを設けて、本事業の周知を行う。令和4年度は、天龍梅花駅伝(長野県天龍村)参加者680人のうち、ノベルティを配るなどして概ね3割の人へPRを実施。</p> <p>令和5年度においても、管内の対象マラソン大会にブースを設け、事業PRを行う。</p> <p>参考: 令和5年度対象マラソン大会数 18大会(令和4年度比 +3大会) うち南信州管内 3大会(飯田市、売木村、天龍村)</p> <p>○本事業はまだ歴史が浅いため、令和4年度の事業の結果が本事業のポテンシャルと判断せず、賞品を温泉チケットなどにすることで、来訪や周遊を促すことも検討しつつ、現状を維持し、契約の前倒しにより広報期間を十分設けることで、本事業の参加者増を目指す。</p> <p>○地域の特色ある魅力的な賞品選定を行い、参加者意欲向上を図る。</p>				
	事業期間	令和5年6月		~	令和6年3月	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	マラソンスタンプラリー事業	運営委託費	368,500	長野・静岡で50%ずつ負担。 委託料総計737,000 (うち長野県分368,500)		
	大会周知PR活動等	愛知・静岡県との物品受け渡し 大会でのPRブース設置 啓発物品購入等	114,510	ノベルティ購入107,800 (@107.8×1,000個) 広報用紙代880 郵送料5,830		
	合計		483,010			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	応募者数(人)(令和4年度:61人)		80	180	一部達成	
	特別賞要件該当者(各3県でスタンプ1つ以上、合計スタンプ4つ以上)(人)(令和4年度:3)		4	3		
事業実績・成果	<p>【実績】 令和4年度実施時から約1か月前倒しで広報を開始し、応募要件を緩和した影響もあってか、応募者:61人→180人(前回比+295%)、そのうち応募要件該当者:59人→177人(前回比+300%)と、共に大幅に増加し、それぞれの効果が顕著に表れた。当県の応募者数も3人→8人(前回比+267%)と倍増した。特別賞受賞者は3名と増減はなかった。 また、長野県開催の3件全ての対象のマラソン大会に赴き、事業の周知や参加の呼びかけを行ったことで、来年度以降の参加者獲得に手ごたえを感じた。①10月8日・うるぎトライアルRUN:参加者150人全員へチラシを配布し他の来場者へも約250枚のチラシを配布した。②10月9日・風越登山マラソン:参加者474人の約8割にあたる400枚のチラシを配布した。③2月18日・天龍梅花駅伝:全113チームへチラシを配布した。</p> <p>【成果】 上記のような広報活動の効果により、目標値を大幅に上回る応募者数、有効応募者数となり、目的に掲げている交流人口の増加に繋がることができた。</p>					
今後の方向性	基本的な内容は令和5年度と同様とし、さらに事業の周知を図るため他県の対象大会に赴いてスタンプラリー参加の呼びかけを行いたい。また、課題である長野県への来訪につなげるため、賞品を管内温泉のチケット等にすることを引き続き検討し、スポーツ施設やスポーツ関連団体等への周知にも力を入れていきたい。					